

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 2024 年 3 月

事業所名 リーぷりんぐ

	チェック項目	○	△	×	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	9				
	2 職員の配置数は適切である	9				
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	7	1	1	一戸建てであるため、バリアフリーの建物ではないが、手すりや滑り止めをつけて可能な限り危険予防を行っている。	今後も新しい目で可能な限りの安全策を行っていく。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	9				
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	9				
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	8	1		毎年ホームページにて公開	公開は義務ですので、毎年ホームページにて公開しております。職員間の情報共有が課題です。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	7	2		障がい児成長協会、NPO法人つみきの会と業務提携し、必要な専門的助言などを受けながら研修を行ったり、支援を行っております	
8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	9					
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	9				
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	9				
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	7	2			活動プログラムの内容は常勤非常勤問わず、広く募集し役割分担しております。勤務日数の少ない職員も参画でき、チームで行っていると感じられるよう仕組み作りが課題です。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	9				
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	9				
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	9				
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	9				
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	8	1			
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8	1		デイロボという連絡帳ツールを用い、記録をとっています。また利用者様別の共有事項ファイルを作成し、支援の検証・改善に役立てています。	
18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	8	1		半年に一度以上、モニタリングを行い見直しを行っています。		
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	7	2		研修にて大枠を伝えている。	ガイドラインの大枠は研修などで伝えることが出来ていますが、読み合わせの機会は今後持ちたいと思います。	
20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	9					
21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	9					

関係機関や保護者との連携	22	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	9			
	23	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	9			
	24	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	6	3	近隣カフェやケアプラザ等の一般の方々が参加するイベントに積極的に参加しております。	何を目的としたイベント参加か、職員周知を行っています。
	25	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	8	1	可能な限り毎回参加しています。	今のところ100%の参加率です。内容の共有なども含め職員への周知が課題です。
	26	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	9			
	27	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	6	3	公式LINEや電話、家庭連携支援や事業所内相談において面談を行い、保護者様へのフィードバックを行っている。	来年度より計画的にペアレントトレーニングを行っていく。
保護者への説明責任等	28	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	9			
	29	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	9			
	30	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	6	2	1 ・講座などのイベント開催 ・親の会への寄付	個人情報や個々のニーズに配慮しながら、ペアレントトレーニング等を通じて保護者同士の交流を支援していく。
	31	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	9			
	32	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	8	1	毎月行事予定、活動概要を保護者、職員へ向けて発信している。	今後も継続し、職員が主体的に情報を得られるよう支援する。
	33	個人情報に十分注意している	9			
	34	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8	1	言葉でのコミュニケーションが難しいお子様へはPECSや絵カード支援のご案内をしている。保護者へは気軽に連絡ができるよう公式LINEを配備している。	職員への周知徹底が課題です。
	35	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	9			
	非常時等の対応	36	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	8	1	事務所に各種マニュアル配備している。
37		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	9			
38		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	9			
39		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	9			
40		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	9			
41		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	8	1	事務所に記載フォーマットとファイルを配備している。	職員への周知徹底が課題です。